

令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和5年度、1年生から4年生の児童にアンケートを行ったところ、「英語タイムの学習は楽しいですか。」という質問に対し、「楽しい」「とても楽しい」と回答した児童は、全体の82%でした。(資料1参照) このことから、「英語タイムの学習」にたくさんの児童が意欲的に取り組んでいることが分かります。児童の感想には、

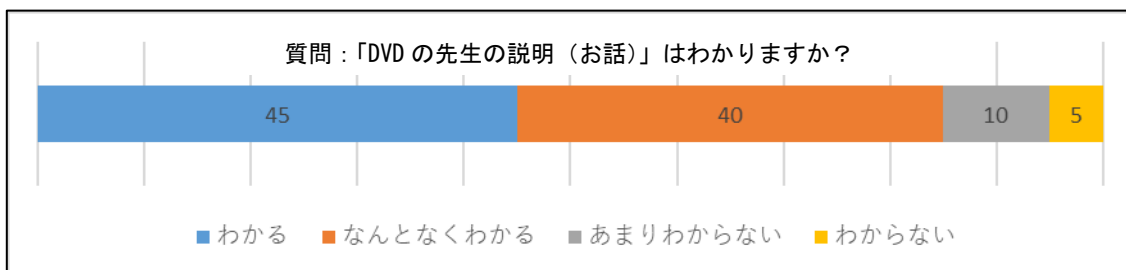
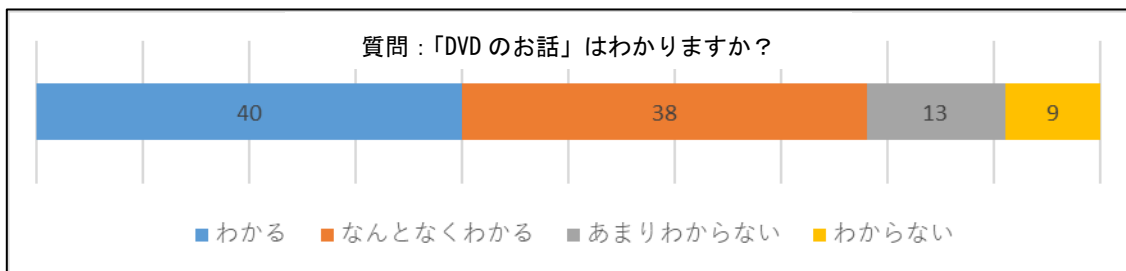
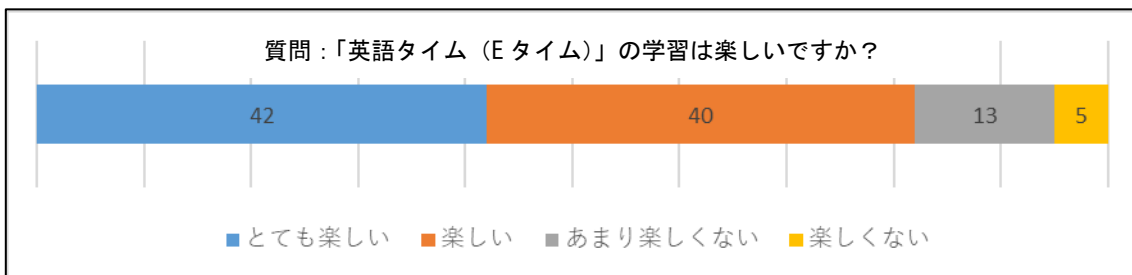
1年「歌を歌うのが楽しい」「リズムに乗って英語を言うのが楽しい」

2年「数字を言うのが楽しい」「アルファベットを探すのが楽しい」

3年「チャンツが楽しい」「動画があるので分かりやすい」「難しいところは、先生が説明もしてくれるので分かる」

4年「だんだんと聞き取れるようになるから楽しい」「曜日や時間を英語で言えるようになってうれしい」などがありました。

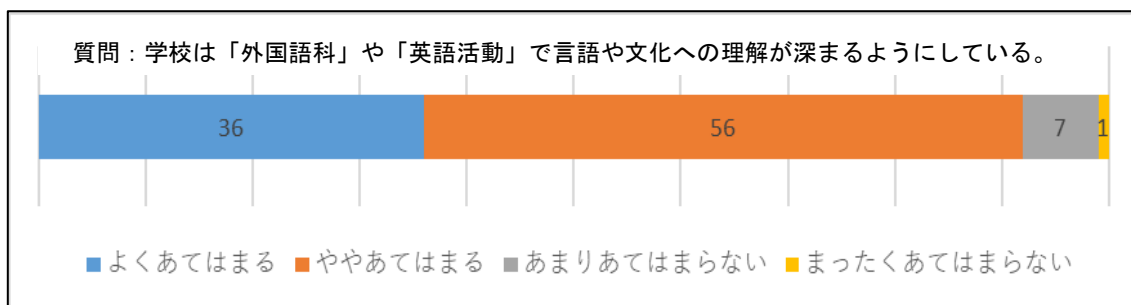
【資料1】児童のアンケート結果



2 学校関係者評価結果

令和5年度に行った保護者向けのアンケートでは、「学校は『英語活動』で言語や文化への理解が深まるようにしている」という質問に対し、「よくあてはまる」や「ややあてはまる」と回答した保護者は全体の92%でした。

【資料2】保護者のアンケート結果



3 まとめ

【資料1】「DVDのお話は分かりますか」という質問に、「分かる」「なんとなく分かる」と回答した児童は、全体の78%でした。このことから、児童は日々のDVD視聴を通じて話されている内容を概ね理解できていると思われます。また、「DVDの後の先生の説明は分かりますか」という質問に、「分かる」「なんとなく分かる」と回答した児童は、全体の85%でした。これは令和4年度より1ポイント上がっています。このことと児童の感想「難しいところは、先生が説明もしてくれるので分かる」などから、DVD視聴後の担任による振り返りが、児童の理解を助けるために有効であることが分かります。今後も、担任による振り返りを重視して、より効果的な方法を模索しながら続けていきたいと思えます。

【資料2】保護者アンケートの結果への対応が課題です。「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」と回答した保護者の意識を「よくあてはまる」に変えていくために、生活のあらゆる場面でも意図的に英語とつなげたり、外国の文化に触れる機会をより多くしたりしています。また、児童へのアンケートでも「英語タイムの学習は楽しいですか」という質問に対し「あまり楽しくない」「楽しくない」と回答した児童が18%います。小学校から英語嫌いをつくらないように、「話す」だけにとどまらず「読む」「書く」など、いろいろな面から英語の楽しさを伝えていこうと考えています。そして、それぞれの学級の担任が言葉かけや支援をしていきたいと思えます。